

共 同 研 究 室

1989年度第5回研究会（9月29日）

▶テーマ 「構造調整と賃金のフレキシビリティ」

報告者 横山政敏氏

1989年度第6回研究会（10月6日）

▶テーマ 「現代の産業構成と労働価値論」

報告者 小檜山政克氏

1989年度第7回共同研究会（10月20日）

▶テーマ 「産業組織のグローバルゼーション」

報告者 肥塚 浩氏

▶テーマ 「実感的ベレストロイカ論——ソ連・ポーランドに留学して——」

報告者 奥村剋三氏

1989年度第8回研究会（11月17日）

▶テーマ 「社会主義諸国の『経済改革』と『政治改革』——ソ連・ポーランドの留学報告——」

報告者 芦田文夫氏

1989年度第9回研究会（11月24日）

▶テーマ 「New Trends in Economic Development & Management Restructuring」

報告者 Dr. Mikhail V. Grachev

1989年度第10回研究会（1990年1月19日）

▶テーマ 「ケネディ減税の特徴」

報告者 飯野公央氏

▶テーマ 「Allan, H. Meltzer の Keynes 解釈の検討」

報告者 磯部智也氏

## 1989年度第11回研究会（1990年1月23日）

- ▶テーマ 「利潤率低下法則と固定資本——経済のストック化によせて——」  
報告者 増田和夫氏
- ▶テーマ 「社会的分業の発展からみた現代のサービス産業についての一考察」  
報告者 長岡弘樹氏

本年度経済学会会員が本誌以外に発表した業績はつぎのごとくである。

浅田 和史

「債務戦略と日本の政府開発援助——『援助大国』化についての一考察——」

【経済】No. 304 新日本出版社 1989年8月

「四全総下の企業都市の再生と都市再開発問題」

【九州経済と国際化・情報化】大月書店 1989年9月

芦田 文夫

「社会主義経済——理想と現実のギャップはなぜ」

【経済】No. 300 新日本出版社 1989年4月

「ベレストロイカと『経済的メカニズム』論」

【社会主義経済研究】No. 12 1989年8月

「ポーランドの『経済改革』『政治改革』」【経済】No. 310 新日本出版社 1990年2月

阿部 顕三

“Tariff Reform in a Public Good Economy”

〈Discussion Paper〉No. 7, Ritsumeikan Univ. 1989年8月

〔共著〕“The Welfare Effects of International Tax Harmonization”

*Economic Studies Quarterly* 1989年9月

“A Note on the Comparative Advantage under Monopoly”

〈Discussion Paper〉No. 8, Ritsumeikan Univ. 1989年9月

〔共著〕“Tax Reform in a Public Good Economy”

〈Discussion Paper〉No. 9, Ritsumeikan Univ. 1989年9月

〔共著〕【ベーシック国際経済学】

有斐閣 1989年11月

稲葉 和夫

「日本企業の海外直接投資統計とその利用をめぐる問題点」

【統計学】第57号 経済統計学会 1989年9月

岩田 勝雄

「テクノポリスと大分県貿易」

『人文科学研究所紀要』 No. 48 立命館大学人文科学研究所 1989年 6月

「『国際化』の進展と中小企業」

『中小商工業研究』 1989年10月

「現代世界経済分析の視点」

『岐路に立つ国際秩序』 法律文化社 1989年12月

上野 俊樹

「アルチュセールの認識論とイデオロギー論」(1)

『季刊科学と思想』 No. 73 1989年 7月

「社公民連の『共同政策』か、真の革新的経済政策か」

『経済』 No. 303 新日本出版社 1989年 7月

「ネオマルクス主義の特徴と影響」

『中小商工業研究』 1989年11月

「『全般的危機』論と資本の矛盾の激化」

『経済』 No. 308 新日本出版社 1989年12月

「アルチュセールの認識論とイデオロギー論」(2)

『季刊科学と思想』 No. 75 1990年 1月

「ブーランツァスの国家論」

『ネオ・マルクス主義——研究と批判』 新日本出版社 1989年 7月

大西 広

「『政策科学』と統計的認識論」

昭和堂 1989年 6月

「古典派経済学、近代経済学と『資本論』」

基礎経済科学研究所編『ゆとり社会の創造』 昭和堂 1989年 9月

「近代経済学の方法論史と統計学／数学論の認識論史」

全国若手哲学者ゼミ『哲学の探求』第17号 1989年11月

「ブレイバァマンはどうのりこえられるべきか」

基礎経済科学研究所編『経済科学通信』第62号 1990年 2月

「レギュレーション理論への問題提起」

関西唯研『現代と唯物論』第 4号 1990年 2月

「安保と経済」

『経済』 No. 312 1990年 4月

小野 進

「緊張緩和と東西経済関係」

「中国の経済改革」

「ソ連経済の停滞——比較経済体制論的アプローチ——」

【多極化する世界経済と日本】 晃洋書房 1990年2月

「準市場経済（Quasi Market Economy）と

ヘクシャー・オーリンモデルの限界(上)」

【立命館経営学】第28巻第6号 立命館大学経営学会 1990年2月

角田 修一

「商品経済と貨幣」

【経済学へのアプローチ】 ミネルヴァ書房 1989年7月

「商品・貨幣と人間生活」

基礎経済科学研究所編『ゆとり社会の創造』 昭和堂 1989年9月

「現代日本の豊かさと貧しさ——89年度版『経済白書』批判」

【経済】No. 306 新日本出版社 1989年10月

「消費社会と女性」

木本喜美子編『女と男の第二楽章』 連合出版 1990年3月

小林 茂

【共訳】J. ハートナック著『人権・正義・国家』

富士書店 1990年1月

坂野 光俊

「経済摩擦下の財政政策調整——日・米・独の協調と対立——」

【経済摩擦と調整——政策と法】 法律文化社 1989年7月

坂本 和一

【GEの組織革新】

法律文化社 1989年4月

「現代の技術革新と『国際独占（寡占）資本主義の段階』

【岐路にたつ国際秩序】 法律文化社 1989年12月

杉野 図明

「大分県における工業立地の歴史的展開」

「テクノポリス構想の形成過程とテクノポリス法の問題点」

「九州における地域産業ビジョンの形成と工業立地の展開」

「大分県北国東テクノポリス計画の概要と問題点」

- 「大分テクノポリスと工業立地要因」  
 「大分テクノポリスと工業用地問題」  
     『大分テクノポリスの経済的研究』 立命館大学人文科学研究所 1989年6月  
 「安心院町における一村一品運動の現状と問題点」  
     『京都地域研究』No.5 立命館大学人文科学研究所 1989年11月
- 鈴木 登  
 「日米欧における産業構造の変化——サービス経済化と構造調整——」  
     『経済摩擦と調整——政策と法』 法律文化社 1989年7月
- 辻井 栄滋  
 「Jack London, *Martin Eden* をめぐる諸問題4」  
     『外国文学研究』No.86 立命館大学 1989年6月  
 (書評)『ジャック・ロンドン』 『英語青年』8月号 三友社出版 1989年8月  
 (翻訳)『地球を駆けぬけたカリフォルニア作家』 本の友社 1989年9月  
 (監修)『The Works of Jack London』Vol.24, 別巻1 本の友社 1989年9月  
 「Jack London, *Martin Eden* をめぐる諸問題  
     ——時代の求めたものとマーティンの目指したもの——」  
     『立命館言語文化研究』1巻1号 立命館大学 1989年12月  
 「Jack London, *Martin Eden* をめぐる諸問題  
     ——プリセンデンと社会主義と個人主義と——」  
     『立命館言語文化研究』1巻2号 立命館大学 1990年3月
- 西口 清勝  
 「外国人労働者の受入れをめぐる動向とその影響」  
     『経済』No.310 新日本出版社 1990年2月号
- 飛田 就一  
 「異文化理解の構造——文化の相対性をめぐって——」  
     『国際化と異文化理解』 法律文化社 1990年1月  
 (共訳) J. ハートナック著『人権・正義・国家』 富士書店 1990年1月  
 (監訳) V. クラフト著『ウィーン学団——新実証主義の起源——』  
     富士書店 1990年3月
- 平田 純一  
 「インドネシアの貨幣需要関数——マレーシアの貨幣需要関数との対比」

- 【ASEAN・アジア NIES の経済予測と分析（Ⅰ）】 アジア経済研究所 1989年4月  
「為替レートの決定要因」
- 【日中リンクモデル（Ⅱ）】 アジア経済研究所 1989年6月
- 藤岡 惇
- 「学会動向，経済理論学会」 【経済科学通信】 第59号 1989年4月  
「新入生を動かすプロゼミ授業の工夫」 【経済学教育】 第8号 1989年6月  
「書評，上杉 忍『バクスマリカーナの光と陰』」  
【経済科学通信】 第60号 1989年7月  
「資本主義はどこへ行く」  
基礎経済科学研究所編『ゆとり社会の創造』 昭和堂 1989年9月
- 松野 周治
- 「1920年代における日本の対『満州』関税政策」  
【経済論叢】 第142巻第4号 京都大学経済学会 1988年10月  
〔書評〕「P. ケネディ『大国の興亡』」  
【経済】 No. 300 新日本出版社 1989年4月  
「日本貿易と経済摩擦——『原点』についての一考察  
戦後日本資本主義の再建と貿易問題」  
吉信 肅編『現代世界経済論の課題と日本』 有斐閣 1989年3月
- 松原 豊彦
- 〔批評と紹介〕「大泉英次・山田良治編著『戦後日本の土地問題』」  
【農林水産図書資料月報】 農林水産省図書館 1989年9月  
〔共著〕「鶯沢町における細倉鉦山離職者の労働と生活  
——ヒアリング調査を中心に——」  
【東北学院大学社会福祉研究所紀要】 1990年3月
- 水田 勝博
- 「ボクシング競技者のフィットネススコアについて」  
【競技種目別，競技力向上に関する研究】 No. 2  
財団法人日本体育協会 1989年4月  
「ボクシング競技の医事管理について」  
【体力科学】 6号 日本体力医学会 1989年12月

三好 正巳

「資本蓄積論と労働問題」

『人文科学研究所紀要』No. 49 立命館大学人文科学研究所 1989年11月

横山 政敏

「日本の低賃金は変わるか——独占資本の賃金抑制の今日的特徴」

『経済』No. 301 新日本出版社 1989年 5月

「国際化とわが国の賃金の特質」

『リストラクチャリングと労働・生活』 大月書店 1990年 3月

「大島紬業と地域経済——伝統産業の労働力編成と基盤を中心にして」

『過疎地域における産業の構造的性質と政策効果に関する実証的研究

——奄美群島を事例として』

1990年 3月

『新社会保障辞典』（40項目執筆）

ミネルヴァ書房 1990年 3月